

◇「品詞(ひんし)」とは？ → 名詞(めいし)、動詞(どうし)、形容詞(けいようし)…など、
「単語」をグループ分けしたもの。
例えば、「リンゴを食べる」の「リンゴ」は名詞、「食べる」は動詞。

日本語の「品詞」は十種類(分け方によっては十一種類)あります。

まずはその中でも、「最もわかりやすい、つかみやすい、重要、役に立つ」(と言っていい！たぶん！)、
最強の二人！ ツートップ！v(^▽^)v

「**名詞**」と「**動詞**」について学びましょう♪

《例えば、こういう単語が名詞！》

リンゴ	本	時計	雑誌	車	CD	サンダル	魚	パンダ	ヒマワリ
東京	北海道	ロンドン	旅行	夏休み	宿題	勉強	昼寝	プール	
うれしさ	悲しみ	幸せ	運命	苦しみ	痛み	忍耐(にんたい)	感謝		

《例えば、こういう単語が動詞！》

食べる	歩く	走る	泳ぐ	飛ぶ	跳ねる	転ぶ	起きる	寝る	笑う
泣く	怒る	ねたむ	見る	聞く	知る	来る	受ける	落ちる	落とす
勉強する	昼寝する	協力する	安心する	心配する	ブレイクする				

↓

つまり、どういう単語が名詞？ どういう単語が動詞？ 自分の言葉で説明してみよう！ >(・▽・)

(**※教科書で調べるか、周りの先生に聞いてみてね♪**)

…そうそう！ たぶんそれ正解！ きっと何となくイメージはつかめているよね(^o^)

正解はぜひ、教科書の「文法(品詞)」のページで調べてみてね。どんなふうに説明されているかな？

ちなみに、「勉強」「昼寝」は名詞で、「勉強する」「昼寝する」となると動詞…なんだね。(.)

 **練習問題**  次の文中の _____ 線の語が、名詞か動詞かを答えなさい。

- ・ 私は毎日、日記を書く。 私(**名詞**) 日記(**名詞**) 書く(**動詞**)
- ・ 昨日 ユミは学校に行き、数学を勉強した。 ユミ(**名詞**) 学校(**名詞**)
行き(**動詞**) 数学(**名詞**) 勉強し(**動詞**)

この問題ができた人は、名詞と動詞の区別はばっちりだね。その理解で良いよ(^▽^)

ところで、この問題に取り組んでみて、

「名詞と動詞の違い」について、イメージ(意味)の違いの他に、何か気がついたことはあるかな？

(・▽・) <「行き」って、「行く」のこと？ だから動詞だよな？

「勉強し」って「勉強する」がちょっと変化した形なのかな？

(線が引いてあるのが「勉強」だけだったら名詞だな…と気がついたあなた！ すばらしい(≧▽≦))

…などと考えながら問題に答えたあなた！

実はそれが、名詞と動詞のとても大きな「文法的な違い」なのです。No. 2 を見てみてね(^o^)_□

◇「活用(かつよう)」とは？

- ・**動詞**は、「行き(←もともとは「行く」)」、「勉強し(←もともとは「勉強する」)」など、**活用が「ある」**(「活用する」)。
- ・「私」「日記」「ユミ」「学校」「数学」など、**名詞**は、**活用が「ない」**(「活用しない」)。

こういうのをやってみると、さらにわかるかな？

- ・ 私 は、本 を 読ん だり、料理 を 作っ たりして毎日 暮らし ている。
- ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
- 私 本 読む 料理 作る 暮らす

それぞれ、ちょうどよい形にして当てはめてみてね。

変えなくてもよい、というか変えようがない単語もあるよね。

こういう問題をやってみると、動詞は「活用がある(活用する)」、名詞は「活用がない(活用しない、というか、できない)」ということがつかめるよね♪

↓ ◇上の6つの単語のうち、活用して(されて)いるもの:「読む」「作る」「暮らす」…これらは動詞だね！

さあ！「活用」とはどういうこと？ 自分の言葉で説明してみよう！>(・▽・)

(※教科書で調べるか、周りの先生に聞いてみてね♪)

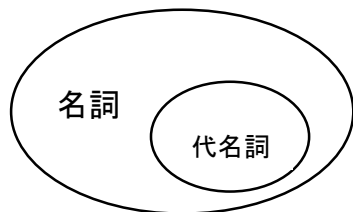
…そうそう！ たぶんそれ正解！（たぶんね）

教科書で「活用」はどう説明されているか、あらためて調べてみよう。きっと納得できるよ(^o^)

名詞、動詞も含めて、全部で十種類(数え方によっては十一種類)ある「品詞」の区別をする時、「活用する」か「活用しない」かが重要な分かれ目になることがあるので、活用する(活用がある)品詞、活用しない(活用がない)品詞、これから先の勉強でしっかりつかんでね。

=====

◇「代名詞(だいめいし)」とは？



図で表すと、こんな感じ。

「名詞」のグループの中に「代名詞」という小さいグループがあって、両方まとめて「名詞」という1つの品詞として扱う考え方と、名詞・代名詞を別々の品詞として扱う考え方があります(こちらの考え方でいくと、「品詞」は十一種類あることになります)。

…まあ要するに、「代名詞」も名詞の一種。どんな特徴があるかな？

《例えば、こういう単語が代名詞！》

これ	それ	あれ	どれ	ここ	そこ	こいつ	あいつ	こちら	そちら
私	あなた	彼	彼女	彼ら	僕	俺	貴殿(きでん)	貴様(きさま)	

例文) それ、私にちょうだい。

↓ ↓

「それ」も「私」も、本当は「チョコレート」とか「○田△子」とか、ちゃんと名前(名詞)があるはず。つまり、「名詞の代わりに使う」のが、**代名詞**なのだ！

これも名詞の仲間として、覚えておいてね(^o^)

◇ 動詞の「活用」の話の続き！

No. 3「動詞の活用表」プリントの最後で、このように口ずさんでみましたね。

《例えば、「書く」、「読む」という動詞を活用させると…》

書かない、書きます、書く、書くとき、書けば、書け、(上に戻って)

書こう、書いた

読まない、読みます、読む、読むとき、読めば、読め、(上に戻って)

読もう、読んだ

「書く」という動詞の活用のしかた(書かない～書いた)の中に、

「かきくけこ」が隠れているのがわかるかな？

「か き く く け け こ (い)」となっているのがわかるかな？

↑この「い」はまあ「おまけ」ということで(^_^)

じゃあ、「読む」という動詞の活用のしかた(読まない～読んだ)の中には、

「かきくけこ」ではなく、何が隠れているかな？ さしすせそ？たちつてと？それとも？

答え: 赤で囲んだ文字を見ると、「まみむめも」が隠れているね！ → 答えは「解答」プリントにて♪

☆このように、「かきくけこ」や「たちつてと」などの五音が含まれる動詞の活用のしかたを、

五段活用(ごだんかつよう)といいます(^▽^)

↳ さらに細かく分けて、例えば、かきくけこが含まれれば「カ行(かぎょう)五段活用」、たちつてとが含まれれば「タ行(たぎょう)五段活用」、と呼んだりもするよ。

📎 練習 📎 次の五音が活用に含まれる動詞を、下の選択肢から探してみよう！

かきくけこ : (歩く 聞く)

さしすせそ : (消す 流す 落とす) たちつてと : (打つ 勝つ)

なにぬねの : (※選択肢の中にはないよ！自分で考えてみて♪ → 死ぬ …考えついた人、いるかな??)

まみむめも : (飲む) らりるれろ : (走る 作る)

わいうえお : (※選択肢の中にはないよ！自分で考えてみて♪ → 笑う 思う 洗う …など)

がぎぐげご : (泳ぐ) ばびぶべぼ : (跳ぶ)

《選択肢》

走る	歩く	跳ぶ	泳ぐ	打つ	消す	飲む	食べる	作る
見る	聞く	流す	流れる	落ちる	落とす	勉強する	勝つ	来る

… この中には、五段活用ではない動詞もあるからね！

そういう動詞はここでは選ばないでね。

↓

五段活用ではなかった動詞はどれかな？

食べる 見る 流れる 落ちる 勉強する 来る

(・▽・) < 五段活用じゃないなら、何活用なんだろう？ 次のプリント(No. 5)で学んでみよう♪

※「見る」や「来る」などの語幹(※)は、語幹があるのかないのか微妙…みたいな存在。まあ、あまり気にしないことにしよう(そうしよう)

(サ変) する	(五段) 拾う	(下一段) 捨てる	(上一段) 着る	(五段) 切る	来る	協力する	勉強する	見る	起きる	落ちる	
※	拾 <small>ひろ</small>	捨 <small>す</small>	※	切 <small>き</small>	※	協 <small>きょうりやく</small> 力	勉 <small>べんきょう</small> 強	※	起 <small>お</small>	落 <small>お</small>	語幹 ごかん
しし ★	おわ	てて	きき	ろら	ここ	しし ★	しし ★	みみ	きき	ちち	ウ、ヨウ ナイ 未然形
しし	つい	てて	きき	つり	きき	しし	しし	みみ	きき	ちち	タ マス 連用形
する	う	てる	きる	る	くる	する	する	みる	きる	ちる	終止形
する	う	てる	きる	る	くる	する	する	みる	きる	ちる	トキ 連体形
すれ	え	てれ	きれ	れ	くれ	すれ	すれ	みれ	きれ	ちれ	バ 仮定形
せしよ ろ	え	てよ ろ	きよ ろ	れ	こい	せしよ ろ	せしよ ろ	みよ ろ	きよ ろ	ちよ ろ	命令形

↓

◇「切る」と「着る」は、両方とも「きる」なのに
活用の種類が違う(五段と上一段)んだね！

◇他にもいろいろな動詞を
活用させてみて、
「活用の種類」を考えてみよう♪

↓

「来る」のような活用を
「カ行変格(かぎょうへんかく)活用」(略して「カ変(かへん)」)
「勉強する」「協力する」のような活用を
「サ行変格(さぎょうへんかく)活用」(略して「サ変(さへん)」)
といいます。特別な呼び名！
しかも、「カ変」の動詞は「来る」一語だけ！
「サ変」の動詞は「する」が付く動詞だけ！ だいぶ特別なグループなので注意してね(.)φ

予想できたかな～？
「上一段活用」だよね！
「かみいちだん」ね♪
「ち、ち、ちる、ちる、ちれ、ちろ(ちよ)」
「み、み、みる、みる、みれ、みろ(みよ)」
のように、「い」の段で活用していくね(^皿^)

📎 練習 📎 これらの動詞を活用させて、「活用の種類」を答えてみよう！丁寧にゆっくり考えてね(^o^)

◇続いては「形容詞(けいようし)」と「形容動詞(けいようどうし)」!

「形容詞」と「形容動詞」、名前が似ているけど、それぞれどんな品詞なのかな?

《例えば、こういう単語が形容詞!》

暑い 寒い うれしい 悲しい 苦しい 大きい 小さい 丸い 四角い
 熱い 冷たい 厚い 薄い 痛い やさしい 強い 弱い 明るい 暗い
 涼しい 美しい やかましい おとなしい 大人げない 情けない やるせない

《例えば、こういう単語が形容動詞!》

静かだ 愉快(ゆかい)だ 安全だ 危険だ 素直だ 豊かだ 厳か(おごそか)だ
 穏やか(おだやか)だ 緩やか(ゆるやか)だ 和やか(なごやか)だ 華やか(はなやか)だ
 涼やかだ 爽やか(さわやか)だ 健やか(すこやか)だ

↓

つまり、どういう単語が形容詞? どういう単語が形容動詞? 自分の言葉で説明してみよう! >(・▽・)

ヒント: 「涼しい」は形容詞で、「涼やかだ」は形容動詞…なんだね。ということは、
 意味じゃなくて「見た目」(言い方)で区別しているんだよね! どんな「見た目」(言い方)かな?

(※教科書で調べるか、周りの先生に聞いてみてね♪)

…そうそう! たぶんそれ正解!

「涼しい」「涼やかだ」、「暑い」、「静かだ」、このあたりに注目して説明できていれば良いよ(^o^)
 教科書の「文法(品詞)」のページではどんなふうに説明されているかな? ぜひ見てみてね♪

※ちなみに、形容詞も形容動詞も「活用」があり、動詞・形容詞・形容動詞をまとめて「用言(ようげん)」と呼ぶよ。

↑「活用」の「用」なんだね(≧▽≦)

📖 練習問題 📖 次の文中の _____ 線の語が、形容詞か形容動詞かを答えなさい。

- ・ その厚い本はとても重かった。 厚い(**形容詞**) 重かっ(**形容詞**)
- ・ 晴れた穏やかな日に、おいしいお弁当を持ってピクニックに行き、楽しく、愉快地に過ごしたのは貴重な経験だった。 穏やかな(**形容動詞**) おいしい(**形容詞**)
 楽しく(**形容詞**) 愉快地に(**形容動詞**) 貴重な(**形容動詞**)

この問題ができた人は、形容詞と形容動詞の区別はばっちりだね(^▽^)

ところで、次の例文の _____ の語は、どちらかは形容動詞だけど、どちらかは形容動詞ではないよ。

・彼は素敵だ。 ・彼は教師だ。 (・▽・) < どうして? 両方とも「~だ」なのに…

↑ 形容動詞 名詞+だ ↑ 「素敵な(もの、こと、人)」とは言えるけど、「教師な(もの、こと、人)」はおかしいよね。

実は、「〇〇だ」は、必ずしも形容動詞ではなく、「名詞+だ(助動詞)」という形の場合があるのです。

★ 見分け方は… → 形容動詞ならば、「~な(もの、こと、人)」という形に変えられる(活用できる)!

「名詞+だ」の場合は、「~な(もの、こと、人)」と言い換えることはできないよ。

(^▽^)< ということは、「素敵だ」、「教師だ」、は

どちらが形容動詞で、どちらが「名詞+だ」なのかな?

答えは解答プリントを見てみてね。文法問題でよく問われることがらなので要チェック♪

◇助動詞と助詞は、どちらも「付属語」。

《例えば、こういう単語が助動詞。》

～た 例) 動いた 動かなかった 冷たかった 読んだ ←「～だ」という姿になる時もあり。

～ない 例) 動かない 動かなかった 冷たくない 冷たくなかった

～れる(られる) 例) ほめられる 笑われる 怒られた 食べられなかった

《例えば、こういう単語が助詞。》

～と ～が① ～の ～を 例) 君と彼女が①社長の机を運んでくれ。

～が② ～だけ ～など ～な 例) これは難しいが②、君だけは「あきらめる」などと言うな。

↓

～が① と ～が② は別々の助詞だよ！ 意味(役割)が違うよね(^o^)b

↓

さて… 助動詞 と 助詞 の 違い、わかるかな？

ヒント:

例えば、助動詞「～ない」は、上の例を見ると、「ない」の他に「なかつ」という形にもなっているね。

助詞はどうか？ 例えば、「～だけ」という助詞は、「だか」とか「だこ」とかのように形が変わるかな？

(^▽^)< 「君だかは」？ 「君だこは」？

さあ！ 「活用」という言葉を使って説明してみよう！ >(・▽・)

(**助動詞は活用がある(活用する)。助詞は活用がない(活用しない)。** という内容で説明できていれば OK♪)

…そうそう！ 助動詞は活用が(**ある**)！ 助詞は活用が(**ない**)！ んだよね♪

教科書の「文法(品詞)」のページではどんなふうに説明されているかな？ ぜひ見てみてね(^o^)b

◇ということはつまり、助動詞には「活用表」があるということ！

例) ↓○○形、△△形、という「活用形」の種類は、用言(動詞・形容詞・形容動詞)の時と同じだね。

		未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形
ない	打消	なかる	なかつ なく	ない	ない	なけれ	○

↳ それぞれの助動詞がどんな「意味」を表すか、が載っているよ。

「○」は「からっぽ」のしるし！ 「ない」という助動詞は、命令形が無いんだね。

◇そして、助詞には「種類」があるよ。

- ・格助詞(かくじょし)
- ・副助詞(ふくじょし)
- ・接続助詞(せつぞくじょし)
- ・終助詞(しゅうじょし)

中学校の教科書では、おそらくこの 4 種類に分けられていると思います。それぞれどんなグループか、どんな助詞があるか、確認してみてね。

↳ また、「並立(へいりつ)」「累加(るいか)」「順接(じゅんせつ)」「逆接(ぎゃくせつ)」など、それぞれの助詞の表す「意味」も載っていると思います。

どんな意味なのかは、「例文」を見てみると、何となくイメージがつかめるのではないかな(・▽・)

★ 自立語と付属語、助動詞と助詞、つかめてきたら、教科書や問題集の練習問題にぜひ挑戦してね(≧▽≦) ★

◇◇ ふたばプリント ◇◇